

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月18日

群馬県知事 あて



提出者 〒376-0013

住 所 群馬県桐生市広沢町5-1167

氏 名 株式会社 三興エンジニアリング

代表取締役 和賀井 浩

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0277-52-5816

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物

処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社 三興エンジニアリング
事 業 場 の 所 在 地	群馬県桐生市広沢町5-1167
事 業 の 種 類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

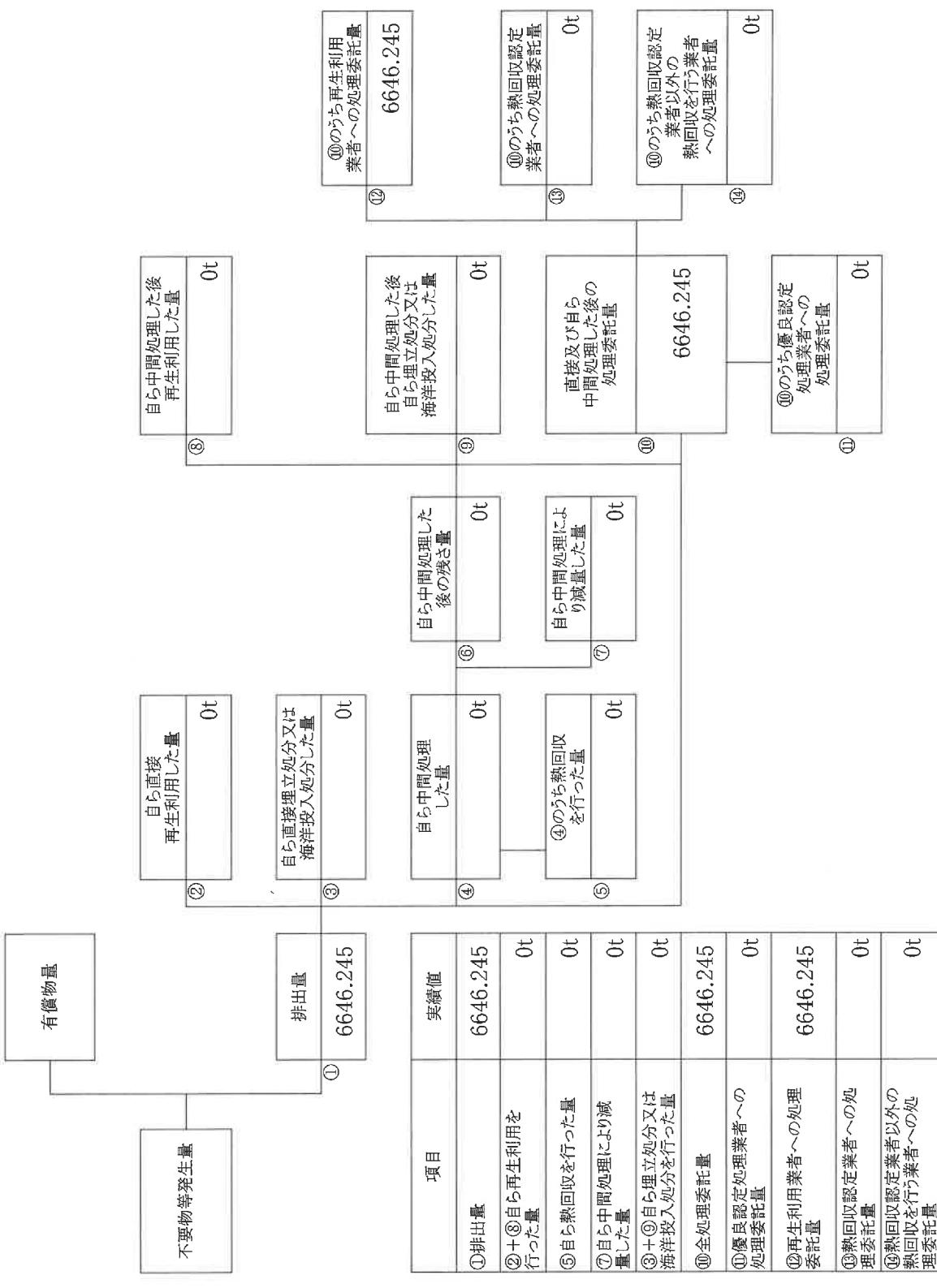
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	800t	全 处 理 委 託 量	800t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 弃 物 の 量	t	優 良 認 定 处 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 热 回 収 を 行 う 産 業 廃 弃 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	800t
自 ら 中 間 处 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 弃 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 处 分 又 は 海 洋 投 入 处 分 を 行 う 産 業 廃 弃 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

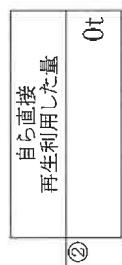
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



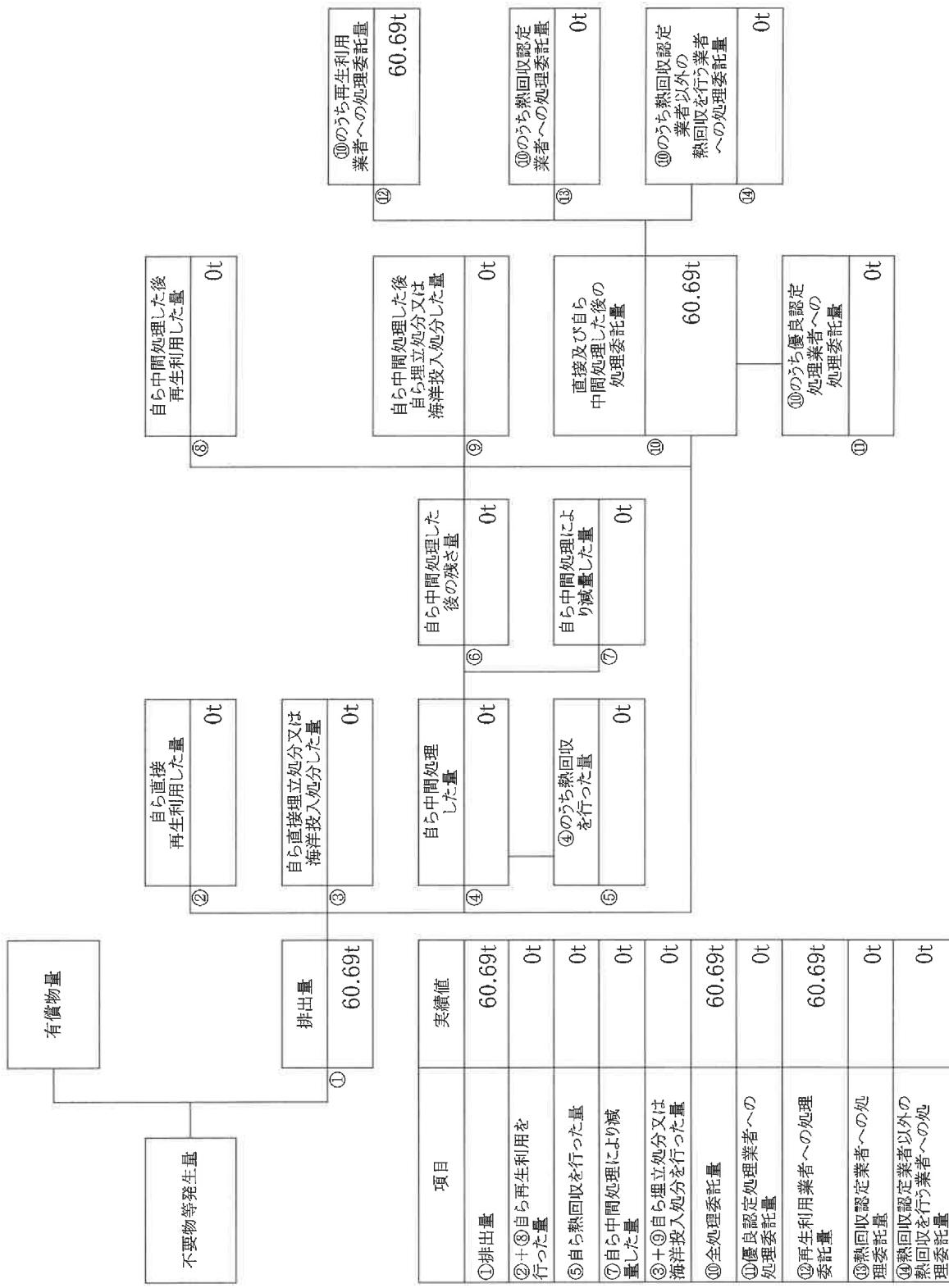
①排出量	実績値 104.615t	④自ら中間処理した量 0t	⑥自ら中間処理した後の残さ量 0t	⑧自ら熱回収を行った量 0t	⑩自ら中間処理により減量した量 0t	⑫優良認定処理業者への処理委託量 0t	⑭熱回収認定業者への処理委託量 0t
②+③自ら再生利用を行った量	0t	⑤自ら熱回収を行った量 0t	⑦自ら中間処理により減量した量 0t	⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0t	⑪全処理委託量 104.615t	⑬自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 0t	⑮自ら中間処理した後再生利用した量 0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t	⑦自ら中間処理により減量した量 0t	⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0t	⑪全処理委託量 104.615t	⑬自ら中間処理した後再生利用した量 0t	⑮自ら中間処理した後再生利用した量 0t	⑯自ら中間処理した後再生利用した量 0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t	⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0t	⑪全処理委託量 104.615t	⑬自ら中間処理した後再生利用した量 0t	⑮自ら中間処理した後再生利用した量 0t	⑯自ら中間処理した後再生利用した量 0t	⑰自ら中間処理した後再生利用した量 0t
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	⑪全処理委託量 104.615t	⑬自ら中間処理した後再生利用した量 0t	⑮自ら中間処理した後再生利用した量 0t	⑯自ら中間処理した後再生利用した量 0t	⑰自ら中間処理した後再生利用した量 0t	⑱自ら中間処理した後再生利用した量 0t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

1



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



不要物等発生量

① 排出量
44.5t

② 自ら直接
再生利用した量
0t

③ 自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
0t

④ 自ら中間処理 した量 0t	⑤ ④のうち熱回収 を行った量 0t	⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量 0t	⑦ 自ら中間処理により減 量した量 0t	⑧ ⑦のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0t	⑨ 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 44.5t	⑩ ⑨のうち優良認定 業者への処理委託量 0t	⑪ ⑪のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量 0t
⑫ ⑫のうち再生利用 業者への処理委託量 0t	⑬ ⑬のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0t	⑭ ⑭のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量 0t					
⑮ ⑮のうち優良認定 業者への処理委託量 0t	⑯ ⑯のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0t	⑰ ⑰のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量 0t					
⑱ ⑱のうち再生利用 業者への処理委託量 0t	⑲ ⑲のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0t	⑳ ⑳のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量 0t					

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



不要物等発生量

① 排出量
10.581t

② 自ら直接再生利用した量
0t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0t

項目	実績値
①排出量	10.581t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	10.581t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.581t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0t

④ 自ら中間処理した後の残さ量
0t

⑥ ④のうち熱回収を行った量
0t

⑧ 自ら中間処理した後の残さ量
0t

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の残さ量
10.581t

⑫ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量
0t

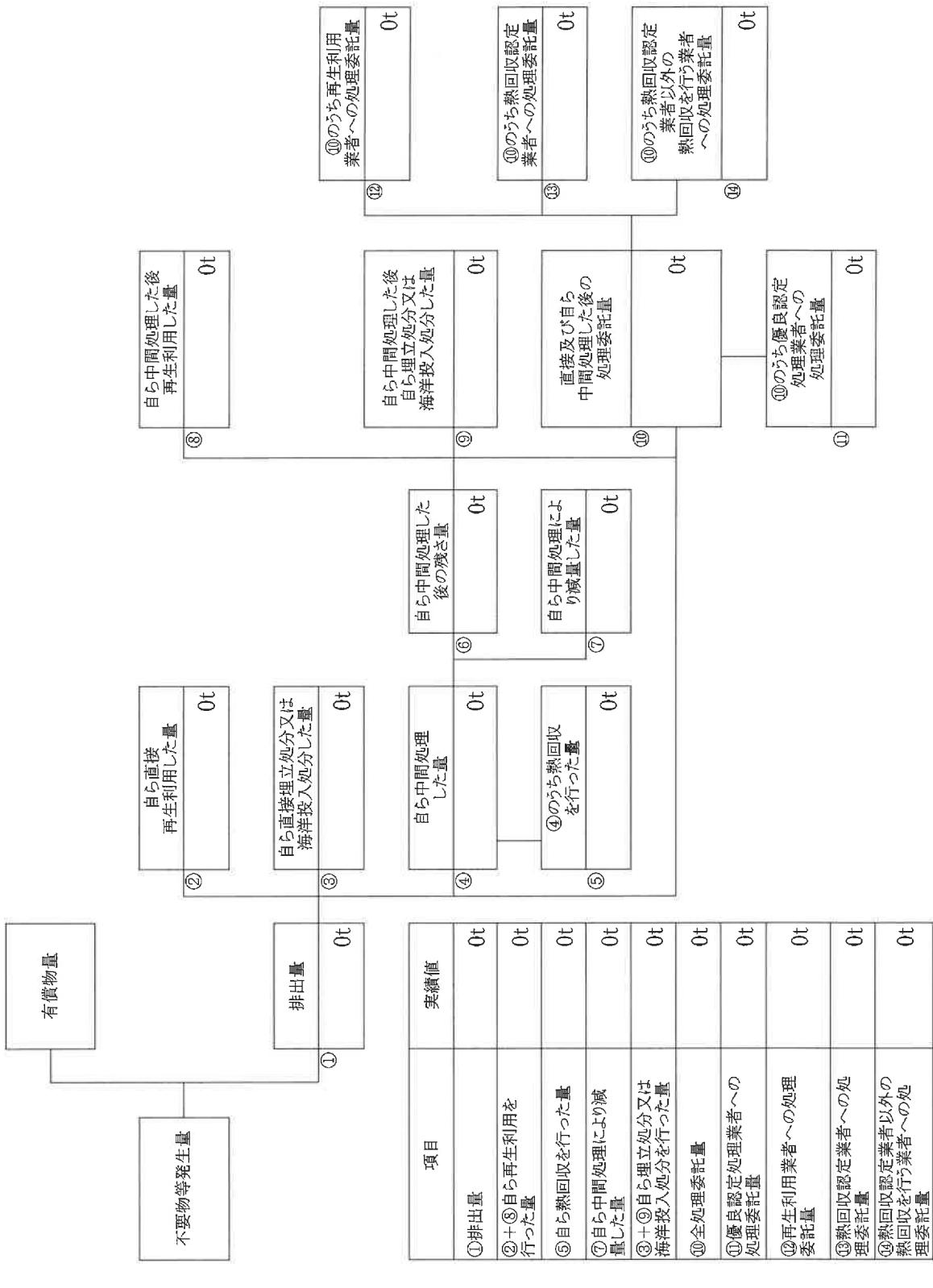
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0t

⑪のうち再生利用率の業者への処理委託量	10.581t
⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0t
⑮のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t

(第2面)

計画の実施状況

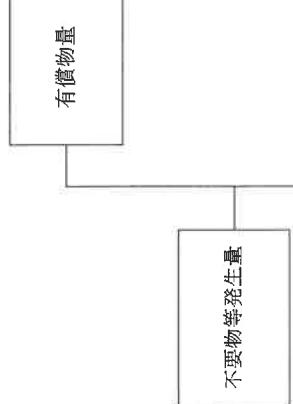
(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)

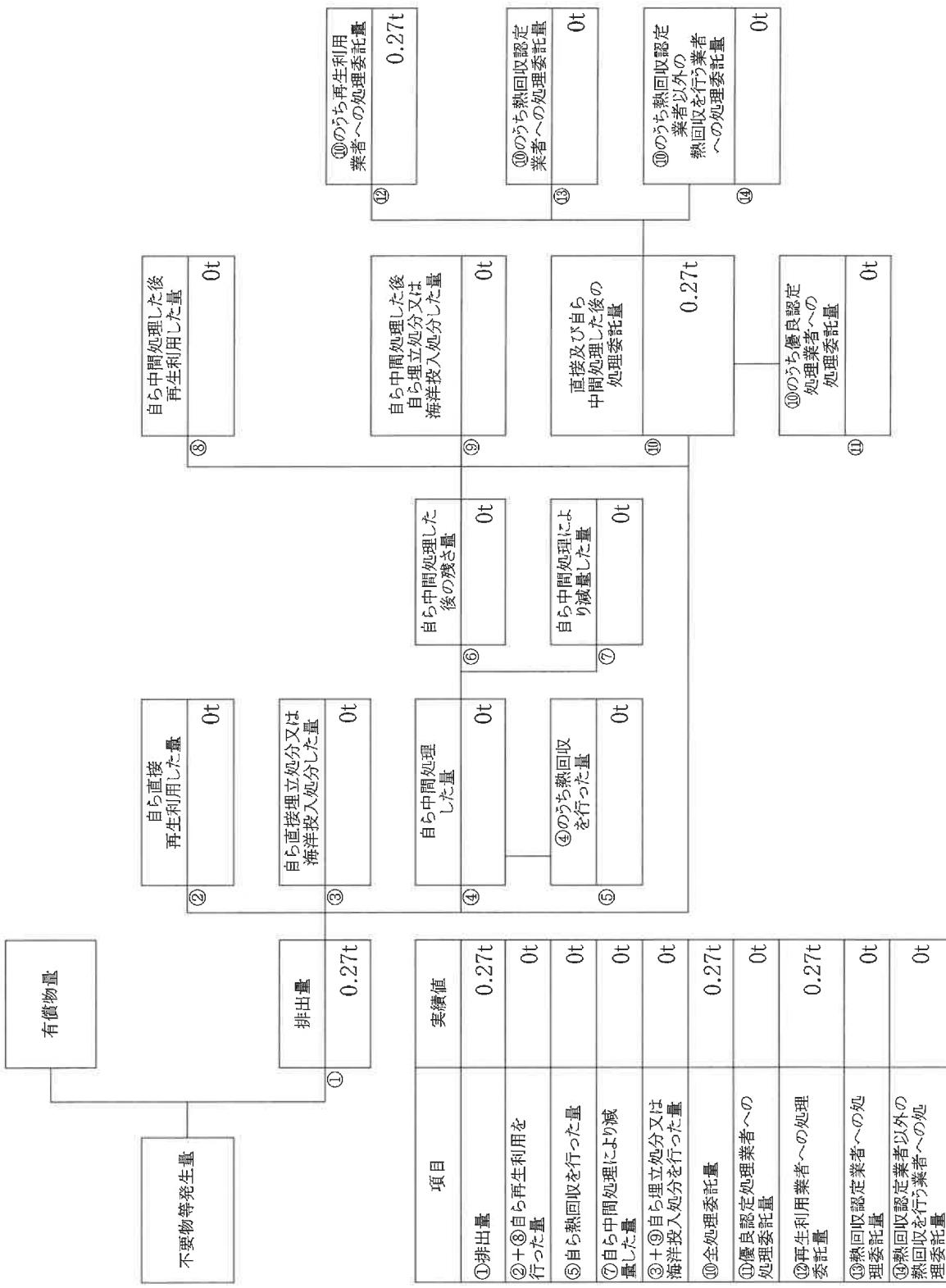


項目	実績値	
①排出量	7.59t	
②自ら直接 再生利用した量	0t	
③自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0t	
④自ら中間処理 した量	0t	
⑤自ら熱回収を行った量	0t	
⑥自ら中間処理によ り減量した量	0t	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0t	
⑧自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0t	
⑨全処理委託量	7.59t	
⑩優良認定業者への 処理委託量	0t	
⑪再生利用業者への処理 委託量	7.59t	
⑫熱回収認定業者への処 理委託量	0t	
⑬熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0t	

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廉油)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。